

# 大谷 50-50 超え

本塁打

盗塁

米大リーグ、マーリンズ戦の7回、50号2ランを放ったドジャース・大谷翔平。メジャー史上初の「50本塁打、50盗塁」を達成した=19日、マイアミ（共同）



【マイアミ共同】米大リーグ、ドジャースの大谷翔平(30)が19日、マイアミで行われたマーリンズ戦でメジャー史上初の「50本塁打、50盗塁」の快挙を達成した。一つの盗塁を決めて51盗塁とした後に六回に49号2ラン、七回に50号2ランを打って到達。九回には3打席連続となる51号3ランを放った。6安打、3本塁打、10打点はいずれも日本選手の1試合最多記録となった。 **関連記事** 19面㉒うれしさと安堵とリスペクト、26面㉒走れる本塁打王に進化

## 大リーグ初 3連発 2盗塁、51-51

チームは20-4で快勝。試合を残して「51本塁打、50盗塁」でもない。自分が一番びつた。大谷はメジャー7年目で初のプレオフ進出。9盗塁まで伸ばした。「こくりしている。一生忘れられない日になる」と語った。

ナショナル・リーグのタイトル争いでも、本塁打王と打点王の2冠に近づいた。今季120打点は2位に11の差をつけ、松井秀喜(ヤンキース)が2005年に残した116の日本選手シーズン最多打点を更新。01年にショーン・グリンがマークした49本塁打の球団記録を抜き、アジア選手初の50号に到達した大谷は2位に13本の大差をつけた。

日本選手のシーズン50盗塁は、01年に56個で盗塁王を獲得したマリナースのイチロー以来、2人目となった。大谷は投打「二刀流」の活躍で21、23年にア・リーグの最優秀選手(MVP)に輝いたが、今季は右投手の影響で開幕から指名打者(DH)に専念。同一シーズンで本塁打と盗塁を43以上記録した初めての選手になった。